

エコアクション21

環境経営レポート

2024年度

活動期間 2024年1月～2024年12月

| | |
|---|-----|
| 1. 組織の概要 | P.1 |
| 2. 対象範囲 | P.1 |
| 3. 実施体制 | P.2 |
| 4. 環境経営方針 | P.3 |
| 5. 環境経営目標 | P.4 |
| 6. 環境経営目標の実績 | P.5 |
| 7. 環境活動計画、環境活動計画に基づき実施した取組内容、 取組結果とその評価、次年度の取組計画 | P.6 |
| 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無 | P.7 |
| 9. 代表者による全体評価と見直しの結果 | P.7 |

2025年3月10日作成

株式会社エイワメタル

活動期間 2024年1月～2024年12月

1. 組織の概要

- 1) 事業所名及び代表者名 株式会社 エイワメタル
代表取締役 赤松 祐治
- 2) 所在地
本社ヤード 神奈川県相模原市中央区田名 8500番地
北ヤード 神奈川県相模原市中央区田名 8497番地
第二ヤード 神奈川県相模原市中央区田名塩田 3-1-4
- 3) 環境管理者氏名及び担当者連絡先 環境管理責任者 高橋 亮
042-778-3911
- 4) 事業の活動内容 非鉄金属屑の卸売
- 5) 事業の規模

| 活動規模 | 単位 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 取扱量 | トン | 37,305 | 33,144 | 31,363 | 29,473 |
| 売上 | 百万円 | 7,538 | 8,046 | 7,774 | 8,347 |
| 従業員 | 人 | 13 | 12 | 12 | 12 |
| 床面積 | m ² | 132 | 132 | 132 | 132 |
| 敷地面積 | m ² | 7,467 | 7,467 | 7,467 | 7,467 |

6) その他情報(産業廃棄物事業者は必須)

- 設立年月日 平成4年 12月
資本金 7,000万円
組織図 添付体制表参照

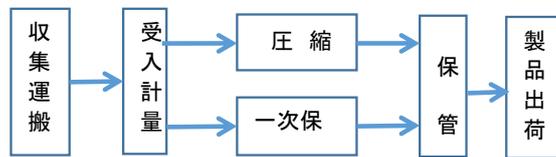
ア 許可の内容(許可番号、許可年月日、許可の有効期限、事業概要、事業の範囲)

- 非鉄金属の買取りと卸売
古物商許可証番号 第452760400003号 許可年月日 平成4年1月10日
金属屑商 第452760600172号 許可年月日 平成6年6月21日

イ 施設等の状況

トラック(8台)・フークリフト(12台)・ショベルローダー(2台)
ユンボ(3台)・ペーラマシン(1基)・トラックスケール(2基)
放射線検出器(2基)

ウ 処理工程



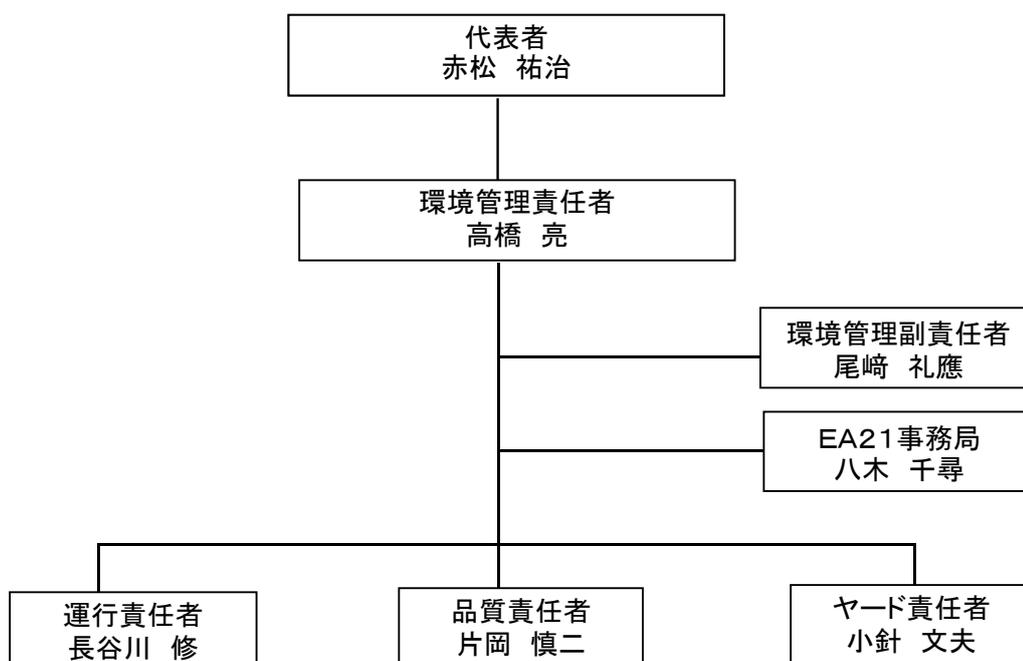
2 対象範囲

全組織、全活動、全従業員

- 会計ヶ月 12月
活動期間 2024年1月～12月
レポートの発行日 2025年 3月 10日

3. 実施体制

実施体制及び責任・権限表



| | 役割・責任・権限 |
|----------|---|
| 代表者 | 1. 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする 2. 環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約、全従業員に周知する 3. 実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め全従業員に周知する 4. 環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意する 5. 環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う |
| 環境管理責任者 | 1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理 |
| 環境管理副責任者 | 1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理 |
| EA21事務局 | 1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成 |
| 部門責任者 | 1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 従業員 | 1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。 |

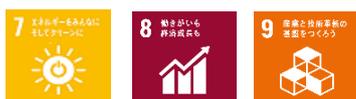
4.環境経営方針

環境経営方針



【理念】

次に続く世代の為に限りある資源を大切にするこれが我社の使命です。
金属リサイクルを通して、資源の有効活用と保護を図ると共に、CO₂排出量の削減及び環境負荷の低減を図ることにより、非鉄金属リサイクルのパイオニアとして持続可能な社会の実現に努めます。



【方針】

- 1)事業活動としての金属リサイクルに於いて、環境に与える影響を的確に把握し、環境目標と環境活動計画を定め、それを実行すると共に定期的に見直しを行い、環境保全活動の持続的改善・向上を図ります。
- 2)環境保全に関する法令等及び受け入れを決めたその他の要求事項を遵守します。
- 3)保全活動を推進する為、全ての組織及び従業員が活動出来る環境管理組織を整備します。
- 4)事業活動の中で、特に以下の項目について優先的に推進します。
 - ①車両等の保守点検・整備とエコドライブを行い化石燃料使用を削減し、又節電を図り CO₂排出量の削減に努めます。
 - ②水の使用量を出来る限り抑え、排水量を削減します。
 - ③事務用品等のグリーン購入を積極的に行います。
 - ④社会福祉協議会や福祉施設との取引を積極的により、社会貢献に努めます。
 - ⑤リサイクルを推進し、廃棄物の排出を抑えます。
- 5)環境教育を実施し全社員の環境に関する意識向上を図ります。
- 6)環境活動レポートを公表し、取引先の理解と協力を要請します。

2024年 1月 1日

株式会社 エイワメタル

代表取締役 赤松 祐治

5. 環境経営目標

環境経営目標

| No | 環境経営方針項目 | 環境経営目標項目 | 基準値 | CO2 換算係数 | 年度目標 | | | |
|--|----------------------------------|-------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|-------------------|------------------|
| | | | (基準年度:2022年度) | | 2023 年度 | 2024 年度 | 2025 年度 | |
| 1 | 二酸化炭素排出量の削減 | 1)電力使用量の削減 | 電力使用量 | 0.496 (東電) | 基準値に対し 1 %削減 | 基準値に対し 2 %削減 | 基準値に対し 2.5 %削減 | |
| | | | 51,747 kWh/年 | | 51,230 kWh/年以下 | 50,712 kWh/年以下 | 50,453 kWh/年以下 | |
| | | 2)化石燃料使用量の削減 | ガソリン | 2.32 | 基準値に対し 1 %削減 | 基準値に対し 2 %削減 | 基準値に対し 2.5 %削減 | |
| | | | 4,524 <L/年> | | 4,479 L/年以下 | 4,434 L/年以下 | 4,411 L/年以下 | |
| | | | 軽油 | | 2.58 | 基準値に対し 1 %削減 | 基準値に対し 2 %削減 | 基準値に対し 2.5 %削減 |
| | | | 191,510 <L/年> | | | 189,595 L/年以下 | 187,680 L/年以下 | 186,722 L/年以下 |
| | | | LPG | | | 3.00 | 基準値に対し 1 %削減 | 基準値に対し 2 %削減 |
| 111.0 <kg/年> | 110 kg/年以下 | 109 kg/年以下 | 108 kg/年以下 | | | | | |
| CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂) | 530,591 kg-CO ₂ /年 | | 525,285 kg-CO ₂ /年以下 | 519,979 kg-CO ₂ /年以下 | 517,326 kg-CO ₂ /年以下 | | | |
| 2 | 廃棄物排出量の削減 | 1)廃棄物排出量の削減 | 紙屑 | | 基準値に対し 1 %削減 | 基準値に対し 2 %削減 | 基準値に対し 2.5 %削減 | |
| | | | 12,180 kg/年 | | 12,058 kg/年以下 | 11,936 kg/年以下 | 11,876 kg/年以下 | |
| | | 2)廃棄物排出量の削減 | 木くず | | 基準値に対し 1 %削減 | 基準値に対し 2 %削減 | 基準値に対し 2.5 %削減 | |
| | | | 5,610 kg/年 | | 5,554 kg/年以下 | 5,498 kg/年以下 | 5,470 kg/年以下 | |
| 3 | 水使用量の削減 | 水道使用量 | | 基準値に対し 1 %削減 | 基準値に対し 2 %削減 | 基準値に対し 2 %削減 | | |
| | | 95 m ³ /年 | | 94.1 m ³ /年以下 | 93.1 m ³ /年以下 | 93.1 m ³ /年以下 | | |
| 4 | 製品の環境性能の向上及びサービスの改善 | 1)燃費の向上 | | | 基準値に対し 1 %向上 | 基準値に対し 2 %向上 | 基準値に対し 2.5 %向上 | |
| | | | 3.00 km/L | | 3.03 %以上 | 3.06 %以上 | 3.08 %以上 | |
| | | 2)リサイクル率の向上 | | | 基準値に対し 1 %向上 | 基準値に対し 2 %向上 | 基準値に対し 2.5 %向上 | |
| | | | 99.95 % | | 100.0 %以上 | 100.0 %以上 | 100.0 %以上 | |

※二酸化炭素排出係数は2014年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを適用した。

※2023年～2025年の3年間の目標設定は、2022年の基準年を元に設定

6. 環境経営目標の実績

2024年度1月～12月

| No | 環境経営方針項目 | 環境経営目標項目 | (基準年) 2022 | CO2 換算係数 | 2024年度 | | |
|---|-------------------------------|----------------------|---------------------------------|-------------------------------|----------------------|--------------|----|
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| 1 | 二酸化炭素排出量の削減 | 1) 電力使用量の削減 | | | 基準値に対し 2.0 %削減 | | ○ |
| | | | 51,747 kWh/年 | 0.496 (東電) | 50,712 kWh/年以下 | 51,096 kWh/年 | |
| | | 2) 化石燃料使用量の削減 | ガソリン | | 基準値に対し 2.0 %削減 | | ○ |
| | | | 4,524 L/年 | 2.32 | 4,434 L/年以下 | 3,249 L/年 | |
| | | | 軽油 | | 基準値に対し 2.0 %削減 | | |
| | | | 111,031 L/年 | 2.58 | 108,810.4 L/年以下 | 93,321 L/年 | |
| LPG | | 基準値に対し 2.0 %削減 | | ○ | | | |
| 111 kg/年 | 3.00 | 109 kg/年以下 | 39 kg/年 | | | | |
| CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂) | 530,592 kg-CO ₃ /年 | | 316,496 kg-CO ₂ /年以下 | 273,765 kg-CO ₂ /年 | ○ | | |
| 2 | 廃棄物の削減 | 廃棄物排出量の削減 | 紙屑 | | 基準値に対し 2.0 %削減 | | ○ |
| | | | 12,180.0 kg/年 | | 11,936 kg/年以下 | 6,720 kg/年 | |
| | | | 木くず | | 基準値に対し 2.0 %削減 | | ○ |
| | | | 5,610 kg/年 | | 5,498 kg/年以上 | 4,360 kg/年 | |
| 廃プラスチック | | 基準値に対し 2.0 %削減 | | × | | | |
| 16,910 kg/年 | | 16,572 kg/年以上 | 30,051 kg/年 | | | | |
| 3 | 水使用量の削減 | | | 基準値に対し 1.0 %削減 | | ○ | |
| | | 95 m ³ /年 | | 94 m ³ /年以下 | 77 m ³ /年 | | |
| 5 | 製品の環境性能の向上及びサービスの改善 | 1) 燃費の向上 | | | 基準値に対し 2.0 %向上 | | ○ |
| | | | 2.80 km/L | | 2.85 km/L年以上 | 3.0 km/L/年 | |
| | | 2) リサイクル率の向上 | | | 基準値に対し 2.0 %向上 | | ○ |
| | | | 99.95 % | | 100.0 % | 100 % | |

※二酸化炭素排出係数は2014年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを適用

7. 活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

| 目的 | | 計画した施策 | 評価 | 施策に対する取り組み評価と次年度の取組内容 |
|------------------|----------------------|---|----|--|
| 1 二酸化炭素排出量の削減 | ①電気使用量の削減 | 使わない場所の照明は使うとき以外は消しておく。 エアコンや空気清浄機のフィルターを定期的に掃除する。長期休暇の際などにpcの電源を抜くなど消費電力を抑える。 | ○ | エアコンや空気清浄機の効率が向上し、消費電力の削減ができた。 各種電気機器の効率を維持するため、定期的な点検とメンテナンスを実施する。 |
| | ②プロパンの使用量の削減 | 洗い物などはゴム手袋を使用しお湯を使わない。 | ○ | ゴム手袋の使用は効果があった。洗い物や掃除の際にお湯を使用しなくなった。 社員全員がガスの無駄遣いをしないように意識し、共同で節約に取り組む。 |
| | ③ガソリン使用量の削減 | 急発進・急ブレーキをせず、常にエコドライブを心がける。 アイドリングストップを心がける。 | ○ | ドライバー全員がエコドライブを実施し、目標達成となった。一人一人の意識の向上が良い結果に繋がった。次年度も同様に削減したい。 |
| | ④軽油使用量の削減 | 急発進・急ブレーキをせず、常にエコドライブを心がける。アイドリングストップを心がける。 使わない時は、重機のエンジンを止める。 | ○ | ドライバー全員がエコドライブを実施し、目標達成となった。一人一人の意識の向上が良い結果に繋がった。次年度も同様に削減したい。 |
| | ⑤二酸化炭素総排出量の削減 | 使わないプラグを抜き待機電力を削減。 冷暖房の使用を2割減らす。 | ○ | 冬場屋間の暖房使用を控えるなどして節電に努めた。次年度も節電を継続していく。 |
| 2 廃棄物の削減 | 産業廃棄物 (紙くず) (木くず) | 自社から出る排出量と、廃棄物処理業者に委託した後どのように処分されているかを、しっかりと把握する。 | ○ | マニフェストの確認を実施できた。今後も廃棄物の削減とリサイクルに取り組む環境負荷の軽減を推進していく。 |
| 3 水の使用量の削減 | 水使用量の削減 | 洗車等する際は、こまめに水を止める。 常に節水を心がける。 | ○ | 社員の意識が向上し対策を徹底することで目標を達成することが出来た。 次年度以降も引き続き節水に努めていく。 |
| 6 製品及びサービスに関する項目 | 燃費の向上 | エコドライブの励行 | ○ | 各自に燃費計算を行いエコドライブを徹底し、ドライバーの意識の向上をめざす。 |
| | リサイクル率の向上 | 単純燃焼の物減らし資源リサイクルやサーマルリサイクルを心がける。 | ○ | ダンボールでの仕入が少なくなってフレコンでの仕入に変わったが、フレコンも木パレットと同様にサーマルリサイクルになっている。 |

○予定通り実施 △一部未実施 ×予定実施できず

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

| 適用環境関連法規等 | 適用される事項(施設、物質、事業活動等) | 遵守確認 |
|-----------|--------------------------|------|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物、産業廃棄物適正管理 | ○ |
| 自動車リサイクル法 | 自動車(廃棄時) | ○ |
| フロン排出抑制法 | 業務用エアコン適正管理 | ○ |
| 下水道法 | 油水分離槽の適正管理 | ○ |
| 条例 | 相模原市廃棄物の減量化・資源化及び適正処理の推進 | ○ |

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

エネルギー使用量の減少と共に、二酸化炭素排出量も減少。社員全員が環境負荷軽減に積極的に取り組むことで環境目標を達成できました。また、こうした取り組みは社員のモチベーションを高め、働き甲斐のある職場づくりを実現しています。今後もエコアクションへの参加を通じて企業の成長と持続可能な社会の実現を目指します。

2025.3.10